

科目名		中国語Ⅱ (ChineseⅡ)							
学年	学科(コース)	単位数		必修/選択	授業形態	開講時期	総時間数		
第5学年	機械工学科 電気工学科 制御工学科 物質工学科	学修	2単位	選択	講義	通年 100分/週	90時間		
担当教員		【非常勤】野村 和代 (【副担当】高橋 正和)							
学習到達目標									
科目の到達目標レベル	4年次で学んだ初級の内容を定着させ、更にレベルアップすることが目標である。 (1)初級文法を理解していること。 (2)教科書に出てきている単語がを習得すること。 (3)相手の問いを理解し、適切に答えを返せること。 (4)言葉の習得を通じて、中国社会やそこで生活する人々に対する理解を深め、日本や日本人のものの見方や考え方との違いを知ること。								
学習・教育目標				JABEE基準1(2)					
関連科目、教科書および補助教材									
関連科目	中国語Ⅰ(4年次)								
教科書	「これでパーフェクト!新 中国語の旅」張勤 著(朝日出版社)								
補助教材等	辞書は4年次に購入したものを使用。								
達成度評価(%)									
評価方法 指標と評価割合	中間試験	期末・学年末試験	小テスト	レポート	口頭発表	成果品	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	37	37						26	100
知識の基本的な理解 【知識の基本的な理解】	◎	◎						◎	
思考・推論・創造への適用力 【適用、分析レベル】	○	○						○	
汎用的技能 【 】									
態度・志向性(人間力) 【 】									
総合的な学習経験と創造的思考力 【 】									
学習上の留意点および学習上の助言									
<p>4年次に学んだ内容を土台にして、更にレベルアップを図っていくので、当然のことながら、4年次に学んだ項目はきちんと理解しているという前提で授業を進めていくことになる。春休み中に一度、4年で使ったテキストを復習しておく、スムーズに新しい内容に進んでいけると思う。5年生は卒業研究や就職活動などで忙しいとは思いますが、技術者として社会に出ると、実際に中国語が必要になる場面も多いので、是非真剣に学んで欲しい。</p> <p>週に一度の授業の時だけ教科書を開くだけでは言葉の習得は難しいので、家庭学習も重視して、より多くの問題をこなす事によって自力をつけていく。4年次の内容も復習しつつ授業は進めるので、地道に実力を積み上げていって欲しい。</p> <p>教科書は必ず購入し、教科書やプリント類を忘れたり、授業時に中国語以外の事をやっているとお減点の対象になるので、そのつもりで受講するように。</p> <p>到達度達成表の「その他」はテキストの練習問題や配布プリントの提出や出来を指すので、自分できちんとやる事。練習問題をしっかりやっていれば、取りこぼす事はない試験のレベルなので、再試はしない。</p>									

授業の明細

回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	第1課:こんにちは 第2課:あげるよ	4年次に学んだ内容を再確認すること。決まり文句を覚えて、書けるようにする。	当該箇所の復習
2	第3課:お名前は? 第4課:いかがですか?	4年次に学んだ内容を再確認すること。決まり文句を覚えて、書けるようにする。	当該箇所の復習
3	第5課:タクシーに乗る	・動詞構文の基本語順・「是」・「～か?」・形容詞構文の基本語順・「的」の用法がわかる事。 ・あいさつの言い方をマスターする事。	当該箇所の復習
4	第6課:果物を買う	・お金の言い方・動作と数量・時間・「有」・疑問詞疑問文・物の数え方がわかる事。	当該箇所の復習
5	第7課:友人を訪れる	・正反疑問文・了(実現・完了)・「～は?」・連動文・吧(推測・勧誘・命令)・「在」がわかる事。	当該箇所の復習
6	第7課:友人を訪れる	・2種類の「了」について、違いがわかり、正しく使い分けが出来る事。 ・あいさつの言い方(続)をマスターする事。	当該箇所の復習
7	中間考査	中間まとめとして試験を行う。	これまでの内容の総復習を行い、試験に備える事。
8	・試験返却・解答解説 第8課:食事に行く	・第8課:試験解説により、間違った箇所を理解する。 ・年齢の尋ね方・了(変化・新状況)がわかる事。	当該箇所の復習
9	第8課:食事に行く	・「想」・選択疑問文・名詞構文の基本語順・比較表現がわかる事。 ・感謝の言い方をマスターする事。	当該箇所の復習
10	第9課:新しい友人と知り合う	・前置詞(1)・里・上(場所を表す)・離合詞・二重目的語がわかる事。	当該箇所の復習
11	第9課:新しい友人と知り合う	・「把」構文・軽い動作の表現がわかる事。 ・名前の言い方をマスターする事。	当該箇所の復習
12	第10課:車を運転する	・様態補語がわかる事。 ・時間の言い方をマスターする事。	当該箇所の復習
13	第10課:車を運転する	・長さの時間の言い方・時間表現の語順がわかる事。	当該箇所の復習
14	第10課:車を運転する	・「できる」助動詞の違いがわかり、使い分けができる事。	当該箇所の復習
	期末考査	期末考査を行う。	これまでの内容の総復習を行い、試験に備える事。
15	・試験返却・解答解説 ・まとめ	・試験解説により、間違った箇所を理解する。 ・前期の学習事項のまとめを行う。	

授業の明細

回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
16	第11課:ボランティア活動	・結果補語がわかる事。	当該箇所の復習
17	第11課:ボランティア活動	・動詞・形容詞が名詞を修飾する・「もう少しで～」・「～しながら～する」がわかる事。	当該箇所の復習
18	第11課:ボランティア活動	・動作進行中の表現・「～するだろう」がわかる事。 ・祝贺・祝福の言い方をマスターする。	当該箇所の復習
19	第12課:ネットカフェへ行く	・要(予定・意志)・前置詞(2)・「打算」わかる事。	当該箇所の復習
20	第12課:ネットカフェへ行く	・動作の状態・手段・方法がわかる事。	当該箇所の復習
21	第13課:診察を受ける	・主述語構文・「ちょっと～」・(是)～的(強調表現)・要・必須(必要・必須)がわかる事。 ・お詫びの言い方をマスターする事。	当該箇所の復習
22	中間考査	中間まとめとして試験を行う。	これまでの内容の総復習を行い、試験に備える事。
23	第13課:診察を受ける	・存在現象文がわかる事。	当該箇所の復習
24	第13課:診察を受ける	・受動構文がわかる事。	当該箇所の復習
25	第14課:コンサートに行く	・方向補語がわかる事。	当該箇所の復習
26	・中国のお正月について説明する。 ・第14課:コンサートに行く	・中国のお正月や吉事について理解すること。 ・可能補語がわかる事。	当該箇所の復習
27	第14課:コンサートに行く	・「～すると、～」・過去の経験を表す表現・「～でさえも」・前置詞(3)がわかる事。	当該箇所の復習
28	第15課:お別れを告げる	・使役構文(兼語式構文)がわかる事。	当該箇所の復習
29	第15課:お別れを告げる	・「～だけでなく、～も～」・「～したら、～」・前置詞(4)・得(～しなければならない)がわかる事。 ・別れる時の言い方をマスターする事。	当該箇所の復習
	期末考査	期末考査を行う。	これまでの内容の総復習を行い、試験に備える事。
30	・試験返却・まとめ・アンケート	試験解説により、間違った箇所を理解する。 ・後期の学習事項のまとめを行う。	
総学習時間数			90 時間
講義			50 時間
自学自習			40 時間